

### 第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策 (令和7年度)

#### 1 概要

施設名	吹田市介護老人保健施設	所管部室課名	福祉部高齢福祉室
実施日時	令和7年11月13日(木曜日) 午後1:30~4:00	実施場所	吹田市介護老人保健施設

#### 2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	雇用契約書について、令和6年4月の法改正への対応がなされていない。	有期労働者との雇用契約書に「更新上限の有無と内容」「無期転換申込機会・無期転換後の労働条件」の対応を行います	1 管理運営体制 (1)人員体制 ア 職員の雇用契約、労働時間等が労働関係法令を遵守したものである。
2	定年後に再雇用する際、退職時の給料の70%を支給することとなっているが、賃金差の根拠が不明瞭である。	定年再雇用による給料の減額は、有期労働者への適用はないものであり、責任の縮小、退職手当の支給、公的年金受給とのバランス、高年齢雇用継続給付金の対象を減額根拠としています	
3	ハラスメントについて、防止規程を設けるだけでなく、ハラスメント研修を含む接遇研修を取り入れられており、防止策を実行している実態が確認できた。 介護職員数、看護職員数が事業計画目標を達成できるよう、引き続き努力していただきたい。	/	
4	入所者アンケートの自由記述欄に1件のみだが「リハビリをもっと実施してほしいです。」とあるため、入所者の回復状況や生活目標の変化に応じてリハビリの頻度や内容を随時見直すなど、利用者・家族の希望に沿ったりリハビリ内容の調整に努めていただきたい。	個々に対するリハビリテーションは、本人の有する能力に基づき、適切にリハビリテーションを計画的に実施しているものです。利用者によっては物足りなさを感じる場合も想定されますが、十分な説明に努めて、実施してまいります。	2 管理運営内容 (1)事業運営 ア 施設の設置目的に合致した主催事業(委託事業)を適切に実施している。
5	地域交流、人材確保のための自主事業を積極的に実践されている。地域のニーズを踏まえて、さらに多様な自主事業に取り組んでいただきたい。	現在実施している地域との交流を継続しつつ、その中で要望等を把握して、充実させてまいります。	2 管理運営内容 (1)事業運営 イ 指定管理者指定申請書に記載の自主事業を、施設の設置目的に合わせて適切に実施している。
6	「地域に開かれた老健」として、今後も地域の団体との連携や地域貢献に取り組んでいただきたい。	近隣地域の住民や、各種ボランティア団体、また、大和大学の学生と協働して、地域における介護予防、認知症への理解への取り組みを推進します。	2 管理運営内容 (1)事業運営 ウ 指定管理者指定申請書に記載の地域連携・地域貢献を適切に実施している。

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
7	在宅復帰超強化型の介護老人保健施設であることから、今後も在宅復帰率50%以上を維持できるよう努めていただきたい。	引き続き継続して高い水準での在宅復帰率を維持できるよう、多職種が連携して、地域の介護サービスとの調整を図り、維持に努めます。	2 管理運営内容 (1)事業運営 エ 「指定管理者が行う業務の管理運営の基準」に則した運営を適切に実施している。
8	アンケート調査、聞き取り、インタビュー、意見箱など、多様な方法により、入所者本人・家族の苦情や要望をキャッチできる体制を整えていただきたい。また、入所者本人・家族が苦情や要望を言い出しやすい環境づくりに努めていただきたい。	年1回のアンケート調査、定期的な家族懇談会、意見箱の設置により、様々な意見や要望を汲み取り、また、定期的な研修の実施によって、職員の接遇力の向上を図ることで、本人・家族との信頼関係づくりに努めてまいります。	3 利用者満足度 (1)利用者対応 ア 苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。
9	入所利用希望者が減少傾向にある状態を改善するため、利用促進の取組をより一層充実させ、入所利用希望者数が増加に転じるよう努めていただきたい。	引き続き、地域におけるケアマネジャーや医療機関等に対して、定期的に空き情報を提供してまいります。	3 利用者満足度 (2)利用者サービス ア 利用者サービス向上及び利用促進を図るための取組を行っている。
10	入所利用率を上げるために、効果的な広報の工夫をしていただきたい。	ホームページの充実、パンフレットの配布等は実施しているが、更に効果的に広報活動を行うための手段を継続して検討してまいります。	3 利用者満足度 (2)利用者サービス ウ 施設の利用案内や事業の開催案内をパンフレットやホームページ等により、適切に行っている。
11	利用率が上がらない要因として、サ高住へ流れてしまっている実態を把握・分析できているのであれば、民間企業の営業には敵わないと諦めるのではなく、何か取組を進めていただきたい。第三者モニタリングのような場を機会に、市も含めて強い危機感を持つことが必要である。	隣接していた市民病院の移転を含めて、利用率減少には非常に強い危機感を持っています。利用率向上に向けた取組を引き続き検討してまいります。	4 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況 ア 施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能である。
12	JRや阪急の駅から離れた立地不便が影響しているという分析から、市内のミニバスとの提携なども検討されたい。	以前は、阪急バスの停留所もあったが、利用者数の減少により廃止された経緯があります。どのような手段が有効か引き続き検討してまいります。	
13	支払能力が高く、安定性には問題がないが、自己資本比率が23.6%と良い値ではない。ただし、すぐに倒産するようなものではないため、一定の評価ができる。		4 サービス提供の継続性及び安定性 (2)指定管理者の財務状況 ア 団体本体の財務状況も健全であり、引き続き、安定的かつ継続的な管理運営を行うことが可能である。